『光輝賞』は、岳洋中教育の象徴

岳洋中全体の目標「みんなのために自分から考動する」に向けた取組が、3年目に入りました。目標どおりの考動を頑張る岳中生を称揚し、その活躍を全校へ広めることを目的に、『光輝賞(学校賞)』を授与しています。

1『光輝賞』受賞の取組(例)

㋐～㋓等を継続して実践し、仲間や教員から推薦された岳中生を全校表彰します。



㋐日常生活

・誰に対しても「**岳洋愛あふれる挨拶**」 を進んでする。
・落ちているゴミを見つけ、進んで拾ってきれいにする。

㋑応募へのチャレンジや地道な努力

・「校内外の応募」や「ボランティア」に挑戦する。
・自分で決めた目標に向かって、コツコツ努力する。

㋒授業

・学級のための呼びかけや、移動教室の電気消しをする。
・活発に議論したり、前に出てわかりやすく説明したりする。

㋓学級や生徒会活動など

・仲間を「さん付け」で呼ぶ等、思いやりある行動がとれる。
・学校生活がよりよくなるようなアイディアを提案する。

【新聞で紹介されました】



「光輝賞」に5人

「光輝賞」を受賞した生徒たち＝菊川市岳洋中学校で

「自分から考動」表彰 菊川・岳洋中

菊川市岳洋中学校は、学校生活の中でみんなのために行動する生徒をたたえる「光輝賞」の本年度第1号に選ばれた5人を表彰した。同校独自の賞で、生徒と教諭の推薦をもとに年間を通じて定期的に表彰し、全校生徒の励みにしてもらう。

受賞したのは1年の樽松優芽さん、2年の浜村弘樹さんとファン・アン・ミンさん、3年の石上健太さん、青柳亜胡さん。それぞれ学校目標の「みんなのために『自分から考動する』」の実践に向け、困っている仲間への声かけや、クラスの取りまとめ役などに積極的に取り組んだ。

表彰式の様子は昼休みに校内テレビを通じて放送し、山崎公男校長が賞状を手渡した。学級委員としてクラスをまとめている石上さんは、「毎日の授業前に、みんなが集中できるような声かけを続けている。明るい雰囲気の学校にしたい」と笑顔で話した。

同校は「岳洋愛にあふれた日本一の学校」をグランドデザインに掲げ、校内外でのあいさつ運動や積極的な情報発信を実践している。山崎校長は「自信を持ち、自分の力を発揮する生徒を育てたい」と期待した。

(夏目貴史)

※ここにあげた取組は、ほんの一部です。岳中生の様々な活躍を期待しています。

2 表彰について

・模範となる岳中生に贈る、本校教育を象徴する賞です。賞状は、校長から直接本人に手渡し、表彰式は全校テレビ放送で行います。(6 月末現在で、14名が受賞。)
・受賞者を岳中ニュースで紹介し、光輝賞コーナーに掲示して取組を称えます。

岳洋中全体の目標



みんなのために「自分から考動する」

1 「みんなのために、自分から考動する」とはどういうこと？

☆「 みんな 」とは

・岳中の仲間や先生、家族や地域の方など周りの人たち、そして、自分を指します。

☆「 自分から考動する 」とは

・リーダーや先生の指示を待つのではなく、どんなことをしたら、みんなのためになるのかを自分から積極的に考え、進んで行動することです。(「考動」は岳中オリジナルの言葉)

2 具体的にはどんな考動をすれば良いの？

例えば、(1)～(4)のようなことを、自ら継続実践できると素晴らしいです。「継続して取り組んでいる岳中生」や「全校の手本となる岳中生」には、『光輝賞』を授与します。



(1) 日常生活

- 誰に対しても「岳洋愛あふれる挨拶」を進んでする。
- 落ちているゴミを見つけ、進んで拾ってきれいにする。

(2) 授 業

- 常に時計を見て時間を意識し、進んで2分前着席等の呼びかけをする。
- 仲間と活発に議論したり、前に出て身振り手振りで説明したりする。

(3) 学級や生徒会活動

- 正しくない行動を諫め、困っている仲間にやさしい声掛けをする。
- 地域のために「〇〇しよう」、生徒会活動で「△△しよう」と提案する。

(4) その他

- 自分で決めた目標に向かって、コツコツ努力する。
- 校内外のボランティア活動へ、積極的に参加する。

☆目指せ『 光 輝 賞 』

